

科目名	中国芸能					単位	2.0
担当教員	渡邊 幸彦						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	1309

●授業のテーマ

台湾の伝統芸能と今

●到達目標

歴史的民族的にも複雑な背景を持つ台湾において、伝統芸能と現代文化がいかに融合しているかを理解する目を養う。

●学習内容(授業概要)

台湾では近年、19世紀半ばに大陸から伝えられたとされる民間芸能の一つである「布袋戲」(ポテヒ・指人形芝居)の伝統を継承し発展させていこうという取り組みが官民一体となって進められており、若者にも大いに受け入れられている。

もともと大陸で生まれたこの一芸能が、台湾でいかに発展を遂げてきたか、文献資料等でその歴史をたどった上で、現在行われている様々な取り組みを紹介してみたい。

写真やビデオ、実際の人形なども用いつつ講義を進める予定である。

●学習内容(授業計画)

1. ガイダンス
2. 人形劇の分類
3. 民間芸能における布袋戲の位置づけ
4. 19世紀以降の台湾
5. 布袋戲の起源
6. 大陸における布袋戲の展開
7. 台湾布袋戲の系統
8. 人形師李天禄について
9. 日本占領下の台湾と布袋戲
10. 黄氏一族の戦略
11. 金光戲など
12. テレビ布袋戲
13. 現在の取り組み
14. 主要演目紹介
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

事前に中国・台湾に関する基礎知識を調べておくこと。また事後は、講義時に配布する資料を読んで内容をしっかり把握しておくこと。

●成績評価方法・基準

平常点10割。

●テキスト（必携）
講義時に配布

●参考文献／その他
授業時に指示する。

●履修上の注意
毎回授業時に課題（レポート）の提出を求める。